

# 武義高だより

第139号

令和5年7月13日

## 岐阜県立武義高等学校



— 入学式 —

### — 内 容 —

- ◆ 武義高サポーター …… PTA会長 1
- ◆ 学びの視点を求めて  
…………… 校長 2
- ◆ PTA定期総会書面開催 …… 2
- ◆ どうぞよろしく ～PTA役員挨拶～  
…………… 3・4
- ◆ 武義高等学校生の素晴らしさ  
…………… 生徒指導部長 5
- ◆ コロナ後 …… 進路指導部長 5
- ◆ 今年度の指導方針 …… 各学年主任 6
- ◆ 新転入された先生方 …… 7
- ◆ 活動の記録 …… 8

### 武義高サポーター

PTA会長 中島 千春



全国的にPTAの在り方を模索する動きが広がっています。昨年夏には大手旅行会社がPTA外注サービスに参入したことが大きな話題となりました。保護者の善意で成り立っていたPTA業務を業者に委託する時代になったことに驚きを感じる一方、保護者の負担や役員選出の難しさから、そういった運営方法に舵を切るPTAが出現することは無理もないこととも感じます。

そのような風潮のなか本校PTAでは、今年度37名の保護者と教職員の皆様に本部役員及び理事をお引き受けいただきました。武義高校及び武義高生のためにお力添えいただけるそのご厚意に、心より感謝申し上げます。

「高校にもPTAがあるの？」そう驚かれるかたもいらっしゃるでしょう。思春期の高校生はその成長とともに親より仲間との関わりを重視し、ともすると親との距離をとりたがる時期でもあります。この時期に、学校と保護者が情報を共有し協力し合い、また保護者同士が繋がるPTAの存在には意味があ

ると言えます。ただ、共働き家庭が一般的になった昨今において、多くのPTAで役員の選出が難しくなっているのが現状です。役員選出が困難な理由はいくつか考えられますが、そのひとつとして情報発信が不十分であることが挙げられます。本校PTAではその活動内容を皆様に周知すべく、ホームページ等を通して積極的に情報発信してまいります。

本校PTAの目的は端的に述べると、「学校教育の充実発展、学校と家庭の連携、会員の教養向上と相互親睦」です。学校と連携を図りながら生徒達の学業や部活動などの学校生活をより充実させ、ひとりひとりに適した進路選択を実現できるよう支援しています。主な行事としては、大学見学会や進路講演会、就職希望者面接指導、文化祭PTA事業などを企画しています。

純朴で快活な武義高生と関わることのできるこのような機会は、私達大人にも懐かしき青春時代を思い起こさせ、心地よい刺激を与えてくれます。また、ここでしか得られない人との出会いや経験は心の財産となるかもしれません。多様な人生経験をお持ちの皆様幅広いご意見を頂戴したく、またその知見をPTA活動に活かしていただければ大変ありがたく存じます。力強い「武義高サポーター」として今後もご支援を賜りますようお願い申し上げます。



## 学びの視点を求めて



校長 加藤 信男

今春の定期人事異動で、中津川工業高校から転任してまいりました加藤信男と申します。今回の異動で歴史ある武義高等学校に縁あって着任できましたことを大変光栄に思います。このご縁に恵まれたことに感謝するとともに、皆様とのご縁を大切にさせていただきたいと思えます。

さて、高等学校学習指導要領総則に記載のある通り、生徒たちには将来「豊かな創造性を備え持続可能な社会の創り手となる」ことが期待されており、本校においても、誰一人取り残すことなく、持続可能な社会の創り手となるよう生徒一人ひとりの資質や能力を最大限に伸ばさせる教育を追求していきます。

折しも、21世紀社会は知識基盤社会と言われ、AIやロボティクス等の先端技術が社会生活に取り入れられています。社会の在り方そのものが変わる中、文部科学省の進めるGIGAスクール構想に見られるように、生徒の学び方も大きな変革期を迎えています。その様な状況下で、私たちはコロナ禍に巻き込まれ、多くのものを失いました。しかし、こうした事態を経験した我々は、ICTの活用による学びが可能であることを知りました。また、教室内外の活動において他の生徒と学び合い、多様な考え方に触れ、

切磋琢磨することで社会性や人間性を育むといった高等学校の本来の役割を再認識することもできました。本校はコロナ禍での経験を生かし「教室における対面指導」、「地域社会との連携による学び」、「オンラインでの学習」等の効果的な使い方等を見極めたうえで、それぞれの最適な組合せによる個別的な学びと協働的な学びを支援していきます。そのために「指導の個別化」と「学習の個性化」に視点を求め、視点を意識した学校づくりに力を注ぎます。

また、中学校卒業者数の減少が見込まれる中において、人口減少の加速化や高齢化の進行、地域社会の担い手の減少や地方経済の縮小など、様々な社会的・経済的な課題解決を図るために学校と地域との連携が今まで以上に必要となってきます。地域や場所にとらわれない多様で柔軟な生き方を選択できる社会が実現されつつある今日、どこにいても故郷を回顧し、地域課題の解決を願ったり、図ったりする人材を地域とともに育成していくことが必至です。今こそ、保護者様、生徒の皆さん、教職員が一丸となりオール武義高で歴史ある本校を盛り上げなければならぬと思います。開かれた教育課程の中で学びの視点を求め、学校教育として何をなすべきかを考え、地域に理解を求めながら連携を進めていくことが、本校に求められている重要な使命でもあると認識しています。

本校のより一層の発展のために全力を尽くしていく所存ですので、今後とも変わらぬご支援のほどよろしく願いいたします。

## 4月28日～5月5日 P T A 定期総会書面開催



今回の書面開催、大学等見学会、進路講演会について多くの皆様方からご意見をいただくことができました。

今後のPTA総会の持ち方やPTA事業を行うための貴重なご意見として活用させていただきます。

ご協力、本当にありがとうございました。



# どうぞ よろしく

～ P T A 新役員あいさつ ～



会 長 中 島 千 春

令和5年度PTA会長を務めることとなりました。微力ながら全力を尽くして参ります。よろしくお願いたします。

副会長 栗山久美子

本年度、副会長を務めさせていただくことになりました。生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるよう1年間頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。



副会長 後藤 知史

本年度副会長の後藤です。生徒の皆様が生き生きと過ごせるようお手伝いをさせていただきます。よろしくお願いたします。



副会長 小林 亜弓

本年度、副会長を務めさせて頂くこととなりました。生徒の皆さんの学校生活がより楽しいものとなるよう、お手伝いさせていただきます。よろしくお願致します。



副会長 安田 有宏

本年度、副会長を務めさせていただきます。生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるよう、お手伝いさせていただきます。よろしくお願いたします。





### 書記 井上 伸江

本年度、書記を務めさせていただくことになりました。生徒の皆様が楽しい学校生活を送れるようお手伝いさせていただきます。よろしくお願いいたします。



### 書記 森 弥生

本年度書記を務めさせていただくことになりました。生徒のみなさんが充実した楽しい高校生活を送れるよう役員のみなさんと協力し、精一杯やらせていただきます。一年間よろしくお願いいたします。



### 会計 増井 千絵

本年度、会計を務めさせていただくことになりました。生徒の皆さんが楽しい高校生活を送れるように、お手伝いできればと思います。よろしくお願いいたします。



### 会計 平井 美貴

本年度、会計を務めさせていただきます。微力ながらお手伝いできればと思っています。よろしくお願いいたします。



### 監事 市原 香代

本年度、監事を務めさせていただきます。先生方、役員の皆様、保護者の皆様のご意見やご要望を伺いながら、一年間頑張りたいと思います。よろしくお願いいたします。



### 監事 宮西 恵

本年度、監事を務めさせていただきます。初めてでわからないことばかりですが、生徒の皆さんが楽しい高校生活を送れるよう、お手伝いできればと思います。一年間よろしくお願いいたします。



### 3年学年代表 加藤 一範

本年度、3年学年代表を務めさせていただきます。生徒の皆さんが楽しく充実した高校生活を送れる様に力になればと思っています。一年間ですが、よろしくお願いいたします。



### 2年学年代表 山田 智里

本年度、2年学年代表を務めさせていただきます。生徒の皆さんの学生生活が、少しでも潤うようお手伝いできればと思います。どうぞ宜しくお願いします。



## 『武義高等学校生の素晴らしさ』

生徒指導部長 各務 憲之

ここ数年における社会状況、世界情勢の変動は、非常に大きなもので、人心にとって厳しいものでしたが、生徒においては、少しずつ、それぞれの状況への対応力や精神の耐性が鍛えられていると感じます。社会に対する不安や諦めのもとたらず刹那的な生活態度が矯正され、真面目に誠実に努力すれば、未来にはきっとなにかあるにちがいない、という願いにも似た純粋な思いが、また以前の様に、子どもたちの心に帰ってき始めています。

生徒を取り巻く状況は、依然として楽観を許すものではありません。そういったなかでの彼らの成長や変化の姿が、一層の勇気と希望を与えてくれます。本校、生徒指導部の基本方針は、今年度も伝統に則った『学びの場であることを自覚し、主体的に判断し責任ある行動ができる態度を育む』を踏襲しています。そして今それに加えて、生徒ひとりひとりの生活環境を踏まえ、普段の生活態度をしっかりと見つめそして理解する。そうして、心身により深くコミットすること、既成の方法論に縛られずに、

## 「コロナ後」

進路指導部長 生駒 伸一

ウイルスがいなくなったわけではないので、言葉に気をつけなければなりません、5類への移行とともに世間は「コロナ後」になってきたように思います。コロナ禍で例年通りにできなかった物事がたくさんありましたが、今度はそれをコロナ前に「もどす」べきか、取り止めになったまま「やめる」べきか、リセットされた機会に「見直す」べきか、問われます。

進路関係では、まず対面での行事がもどってきました。オープンキャンパスや説明会の類いは待ちかねたように再開しています。一方大学のオンライン授業はどうでしょうか。実は最近、大学関係の方々から「オンライン」という言葉はさっぱり聞かれな

彼、彼女にとってより有用なアプローチを模索すること、を心掛けています。生徒の変化、社会の移り変わり、といった事柄を、日常のなかできちんと把握し、本校教育活動の充実に努めたいと考えています。

また、伝統や地域に根差した取り組みは、本校の特色であり、誇れるものと思います。自主的な地域活動として、国の伝統的建造物保存地区である「うだつの上がる町並み」、学校最寄り駅の長良川鉄道「梅山駅」、市民の憩う「小倉公園」、市内を通る「国道156号線沿い」等、各所において、MSリーダーズ、学校家庭クラブ委員、運動系部活動部員等の生徒が美化活動を実践しています。また、美濃市の人権啓発活動にも積極的に参加をしています。広報に掲載される人権をテーマとした作文、あるいは年末に行われる人権展に書道作品を提供し、これらの作品については高い評価をいただいています。伝統を堅守しつつも、不易流行を鑑み、これらの活動に現代的なエッセンスを込めることができれば、と考えています。また、こういった地域貢献を通じて社会性を育み、生徒における責任遂行の能力や、ときどきの状況に応じた正しい判断力を涵養したいと思います。ご理解とご協力をお願いいたします。

くなりました。すべて対面授業に戻したのでしょうか。ですが企業では在宅勤務をそのまま定着させていることも多く、コロナ後も在宅勤務が主で、出社は2週に1日というところもあります。大学の授業のあり方も、コロナをきっかけに変化していくのではないかと密かに注目しています。

人々が一気に解放され「海外旅行ブーム」が起きれば、留学を夢見て進学したのにコロナ禍に遭い「こんなはずじゃなかった」と嘆いていた学生にも、朗報が届くようになるでしょう。高校在学中の3年間、行動制限を受け続けていた昨年度の卒業生は、遠方の大学への進学に二の足を踏むケースがありました。これからみなさんは再び広い視野で可能性を探れます。リセットされたことをプラスに考えて、「やりたいこと」とまっすぐ向き合って進路選択に臨んでほしいと思います。



## 基本を大切に 日々の繰り返しが大切

1年学年主任 吉川 敏幸

4月、新1年生が夢と希望を胸に武義高校に入学しました。ほとんどの生徒が進学や部活動での活躍を目標としています。武義高校の校訓「うまず おくせず たくましく」（根気よく努力する／敢然と挑戦する／力強く生きる）にならい、授業を大切にして家庭での取り組みを習慣づける学習、また部活動や学校行事などへの積極的な参加などで、生徒自身が自己を生かす進路を見つけられるよう指導して

いきたいと考えております。成長のためには、ときには思い切った挑戦も必要ですが、基本を大切にされた日々の繰り返しが大切になります。教師と生徒、また学校と保護者がお互いに信頼関係を築いてこそ、効果が上がると思われまます。保護者の方は、お子様が自分で判断すべきは判断をまかせ、必要に応じて助言をするなど、お子さんの成長につながるようなサポートをよろしくお願いいたします。なお心配事や相談したいことがありましたら、遠慮なく学校のほうへ連絡をしてください。

## 考える2年生

2年学年主任 加納 秀史

コロナ一色だったこの3年間は、私たちの生活をどう変えたか。確かに、様々なところで制限が設けられ、不自由を強いられた。しかし、そのような状況でも、人は皆、同じ時間軸の中で考え、工夫し生き抜いてきた。これまでの常識が通じないからそれで終わりか。いや、そんなことはない。これまでの常識を疑い、それを変えていく。ある意味チャンスともとれる時間だったのではないか。考えられない人間は、どんな時間も無駄に過ごす。考える人間は

常に前に進む。何も考えない時間も必要だという。確かにそうだ。しかし、それは、考える時間を持った人間にだけ有意義なものとして与えられる時間である。

さて、2年生という位置づけはどのようなものか考えてみよう。1年生は周りを見ながら、まねをして行動した期間。3年生は具体的な進路に進む期間。とすれば、2年生はまねから脱して、自分オリジナルの方向性を見いだしていく期間。とすれば、この1年間で自分の将来を形成する上でとても大切な時間と言える。来年の今頃は具体的な進路が見えていだろうか。

## 卒業に向けて、自ら考え、主体的に行動する力を。

3年学年主任 堀内 雅彦

いよいよ最終学年になりました。最後の部活動、文化祭に向けて、最高学年としての責任を自覚し、1・2年生の模範となるけじめのある取り組みをして欲しいと思います。

進路について、明確な目標を掲げ、その実現に向けて粘り強く最後まで努力してください。進路研究や進路決定を通して、自分で判断し行動する能力を養ってください。

自らの夢・進路実現のため、主体的に行動し最後

まで全力で取り組み、納得のいく1年にできることを期待します。





# 新転入された先生方

## 校長(理科) 加藤 信男



このたび、歴史ある武義高等学校に縁あって着任できましたことを大変光栄に思います。仏教用語に「随縁」という言葉があります。縁を尊び、縁に報いるという意味があります。人は、一人では生きられません。友人や出会った人々などとの縁を大切に、縁のあった人に優しく敬意を払い大切にすることが必要です。「随縁」を意識し穏やかな日常を送りたいものです。生徒の皆さんや職員の方々とのご縁に恵まれたことに感謝するとともに、私がこの学校のために何ができるかを日々考えながら、皆さんとの縁を大切にしていきたいと思っています。

## 国語科 河尻 麻紀子



本年度、岐阜各務野高校より転任してまいりました、国語科の河尻麻紀子と申します。新たな環境で色々なことに右往左往しながらも、武義高生の皆さんの素直で明るく優しい姿、元気な姿にエネルギーをもらい、毎日楽しい気持ちで過ごしています。将来の夢のために、勉学、資格取得、部活動など多方面で頑張っている皆さんに負けないように、私も目標をもって頑張りたいと思います。このご縁を大切に、皆さんの高校生活が充実したものになるよう、教員として寄り添いながらサポートしていきますので、どうぞよろしくお願いたします。

## 国語科 進 紗世子



郡上高校から転任してまいりました。母校である武義高校に勤めさせていただくことを、とても嬉しく思っています。明るくて人懐こく、また礼儀正しい皆さんと過ごす日々はとても心地よく、毎日楽しく授業をさせてもらっています。内心「さすが我が母校」と誇りに思っています。二児の母となり育児をする中で、自分と向き合うことの大切さを改めて学びました。皆さんの中には、素敵な向上心があるのを感じます。「私は」こうしたい!という自分の心からの声を聴き逃がさず、ほかならぬ自分のために、何かに打ち込む高校生活を送ってほしいなと思います。それを見守りつつ、私自身も進化していきます。よろしくお願いたします。

## 理科 吉川 敏幸



加茂高校から異動してまいりました。前任校の在籍が15年と非常に長く4月当初は不安や戸惑いがありましたが、生徒が非常にまじめで活発なことや、以前他校で一緒だった先生方が多くいらっしゃったことで、そういった不安はなくなりました。私の専門は理科・物理です。理科は現象を楽しむつつ「なぜ」を大切にする学問です。「なぜ?」と感じたことを深く考えることで新たな発見につながるかもしれません。教科の特性上、理屈っぽいのも確かですが、現象を楽しみながら考える授業をしていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

## 理科 早野 明日香



岐阜北高校より転任してきました早野明日香です。担当教科は理科(専門は化学)です。今年度は1年生の正担任を担当させていただきます。義務教育を経て、自分で選んだ高校に通うという一つの大きな転換点を迎えた生徒の表情を見ると、毎日元気をもらっています。高校ではたくさんの選択を迫られます。文理や履修教科、卒業後の進路…。大きな選択も小さな選択も全てが「自分」を築き上げる礎になります。後悔のないよう、「自分」を大切に高校生活を謳歌してください。皆さんが武義高校を卒業してよかったと思えるよう、私も一生懸命サポートをしていきます。よろしくお願いたします。

## 保健体育科 室屋 靖



武義高校に赴任しての第一印象は、『元気に挨拶ができる学校』です。挨拶は生活していくうえでとても大切なことです。当たり前と思うようなことほど難しいことで、続けていくのはもっと難しいことです。その当たり前ができる武義高校の誇れる素晴らしい姿です。ぜひ続けていってください。

高校生は自分の可能性を広げる大切な時期です。可能性を広げていくために積極的に挑戦してほしいと思います。そして、その力になれるように私自身も学び、サポートしていきたいと思っています。一緒に頑張っていきましょう。

## 保健体育科 甲斐 翼



今年度、多治見北高校から転任してまいりました、甲斐翼です。好きなことはほとんどやり、苦手なことでも最低限のことはやれる人間になってほしいと思っています。好きなことは誰でも継続できます。追求して自分の楽しみにしてください。苦手なことは、誰でもやりたくありません。しかし、やらなければ人に迷惑が掛かります。好きになるまでやれとは言いません。やるべきことはやれるようになってください。あとは、高校生活を楽しくするために毎日を全力で過ごしてください。一度きりしかありません。その為一生懸命サポートできたらと思っています。よろしくお願いたします。

## 英語科 田中 真二



今年度関商工高校から転任してまいりました、田中真二と申します。久しぶりの異動にとまどう暇もなく、ビジネス情報科2年1組29名とともにクラスを作り、英語を通して伝えるべきことを生徒に伝え、学校行事やボランティアなどの特別活動を活発にすることが、今の自分にとって大切なことと考えています。英語の勉強で忘れてはならないのは、「辞書を引くこと」だと思います。一時電子辞書も使いましたが、やはり紙の辞書がいい。クリックやスクロールよりも、ページをめくることは、パズルを解くような、冒険しているような楽しさがあります。私は英語について知らないこと、そして知りたいことがまだまだあるので、これからも辞書を片手に、生徒のみんなや先生方とともに英語を学んでいきます。よろしくお願いたします。



## 活動の記録

### 4月20日 第6回本部役員会・新役員候補



武義高校ホームページ

### 5月10日 スポーツ大会



### 5月25日 第1回PTA本部役員会・理事会



### 6月7日 サッカ一部・陸上競技部 臨時壮行会

◆全日本U-18フットサル選手権  
岐阜県大会2位 東海大会出場

◆岐阜県高等学校総合体育大会陸上競技の部県予選  
女子やり投げ3位 東海高等学校陸上競技大会東海予選会出場



### 6月15日 東海地区高等学校PTA連合会 岐阜大会（本校発表）

